

DMG森精機株式会社

2020年度第1四半期決算説明資料

2020年5月28日

1. 第1四半期決算概要

2. 事業環境

3. 経営施策

- ✓ 損益分岐点引き下げ、クレジットライン拡充
- ✓ デジタル化進展
- ✓ 最先端加工技術普及

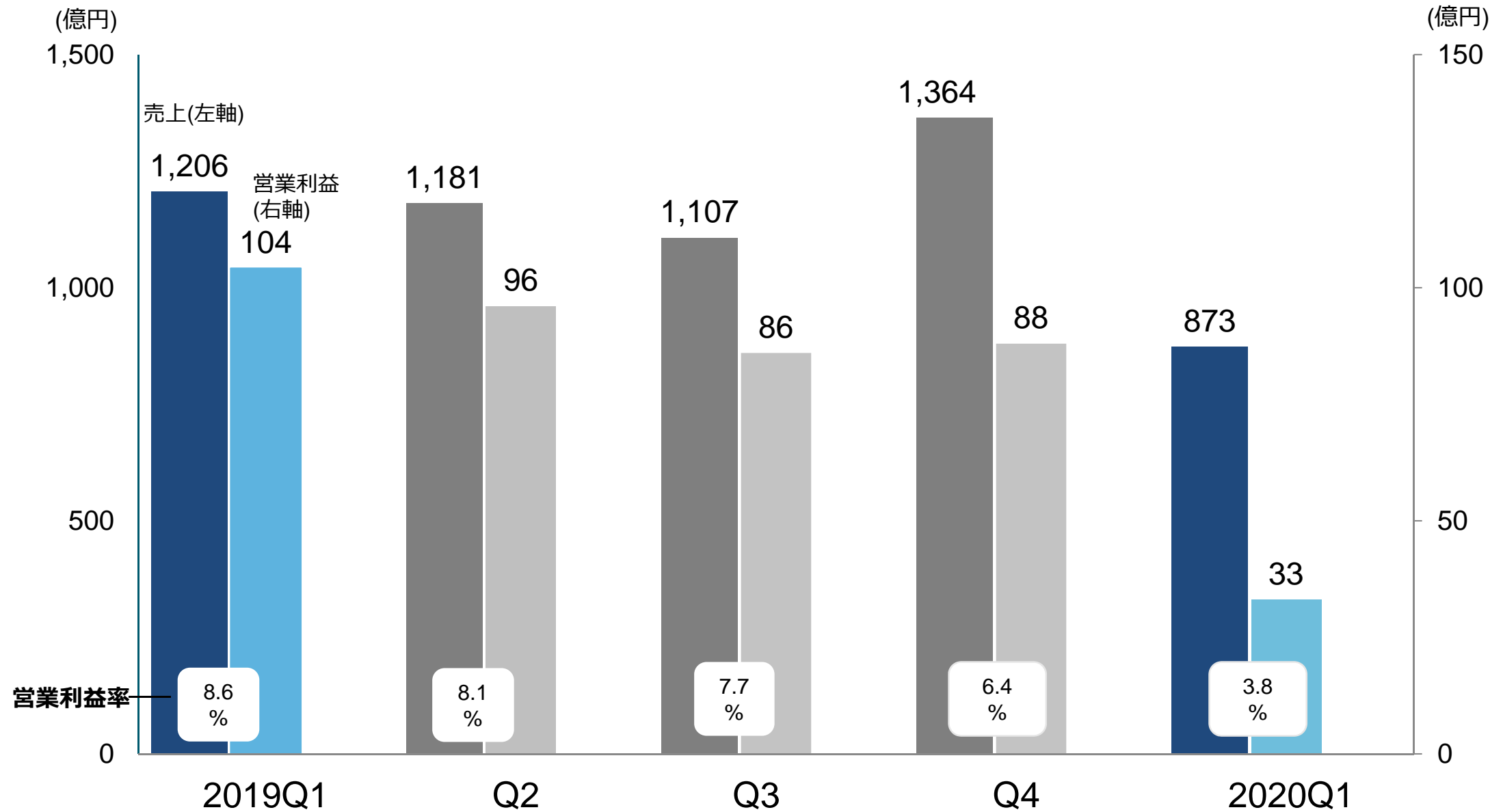
- ✓ 全社受注783億円（前年同期比 34.3%減）
- ✓ 1台当り受注金額前年度比8%増
- ✓ 損益分岐点引き下げ（当初 3,500億円→ 3,100～3,200億円へ）
- ✓ クレジットライン拡充：4月末 3,404億円(3月末 2,853億円)
- ✓ デジタル化促進

オンラインセミナーの拡充（お客様向け、社員教育）

デジタルショールーム、デジタル立ち会い

(億円)	1-3月		増減 (%)	通期 (1-12月)		
	2019年	2020年		2019年実績	2020年予想 (2/14時点)	2020年予想 (5/28時点*)
全社受注	1,191	783	-34.3	4,094	4,200	-
売上収益	1,206	873	-27.6	4,858	4,000	3,200~3,400
営業利益	104	33	-68.6	373	200	50~100
営業利益率	8.6%	3.8%		7.7%	5.0%	-
金融収支	-16	-21		-59	-60	-
(内、ドミネーション・アグリーメントに伴う経済補償額)	(-9)	(-16)		(-35)	(-35)	-
税引前利益	88	13	-85.7	315	140	-
当期利益	64	1	-98.6	189	88	-
親会社所有者帰属利益	62	1	-97.9	180	85	-
償却費(リース含む)	55	59		231	230	230
設備投資額	31	31		212	190	150
USD/JPY	110.2	108.9		109.1	110	110
EUR/JPY	125.2	120.1		122.1	120	120

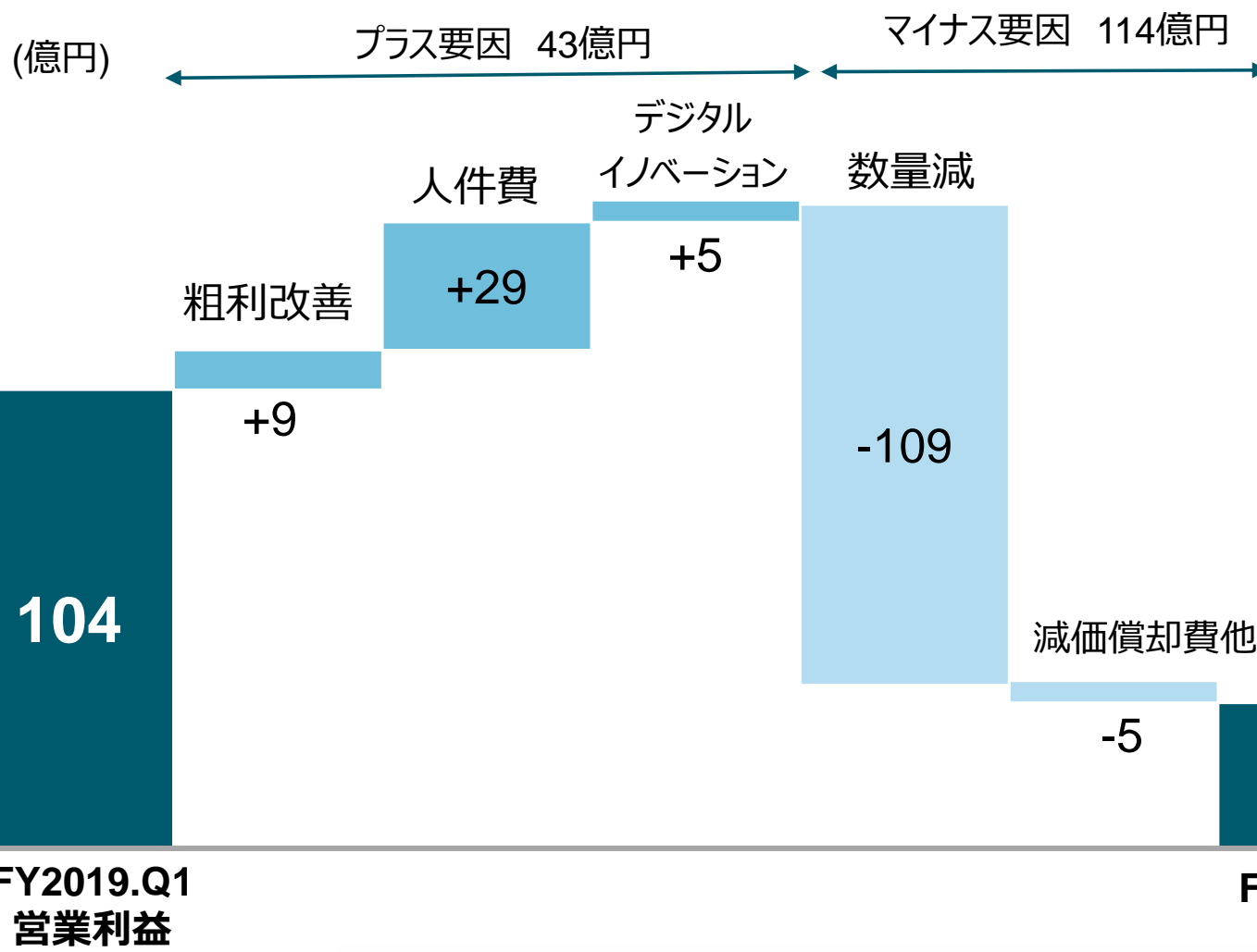
*2020年12月期の業績予想については、EU、米州、中国、東南アジアなど当社の主要事業地域においてビジネス上の渡航制限などが解除されること、また、COVID-19に対するワクチンなどの開発が進み、現状以上の混乱などが生じないことを前提とします。



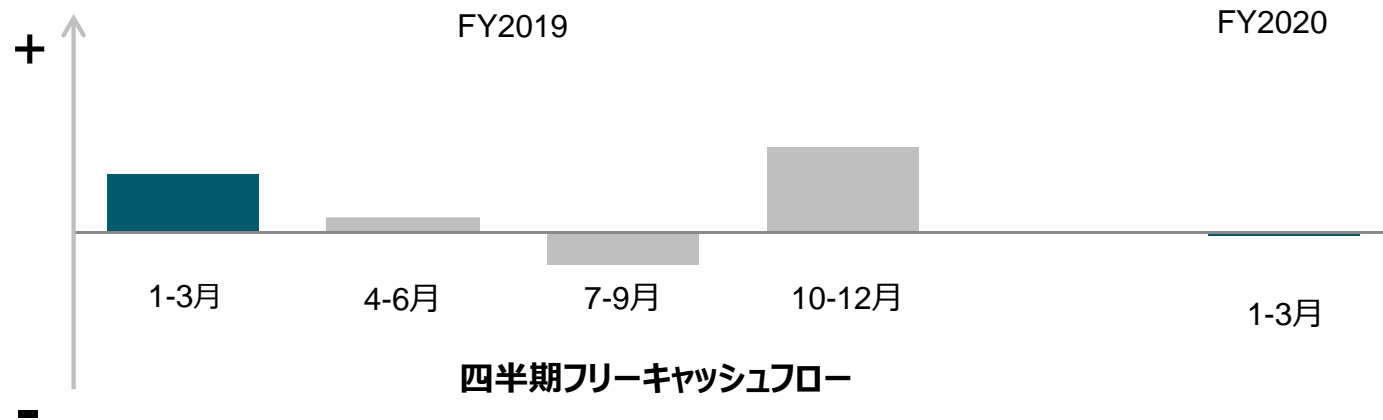
営業利益増減分析 -2019年度 Q1 vs 2020年度 Q1

(億円)	FY2019.Q1	FY2020.Q1	増減
売上高	1,206	873	-333

	FY2019.Q1	FY2020.Q1
為替レート：USD/円	110.2	108.9
EUR/円	125.2	120.1

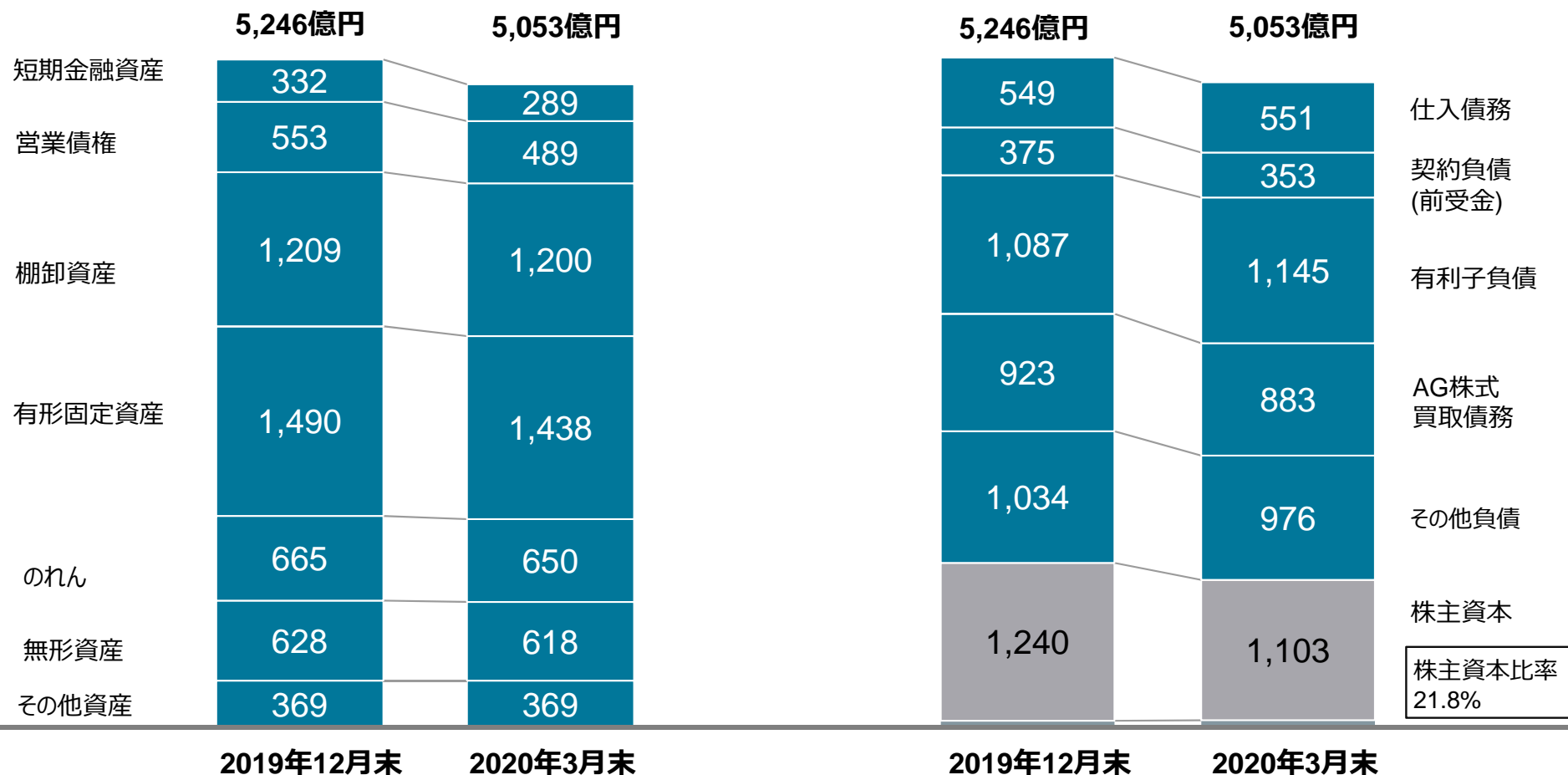


(億円)	FY2019					FY2020
	Q1	Q2	Q3	Q4	FY	Q1
営業キャッシュフロー	130	38	43	225	436	25
税引前四半期利益	88	82	71	74	315	13
償却費	55	53	59	64	231	59
運転資本増減	35	-48	-51	22	-42	44
その他	-48	-49	-36	65	-68	-90
投資キャッシュフロー	-36	-16	-96	-87	-235	-31
(うち有形・無形資産取得支出)	-31	-53	-43	-85	-212	-29
フリーキャッシュフロー	94	22	-52	137	201	-6



資産の部

負債・資本の部



株主資本の減少は、為替換算調整勘定の影響：-281億円(2019年12月末：-192億円)
(主として新興国通貨安に伴う換算差)

1. 第1四半期決算概要

2. 事業環境

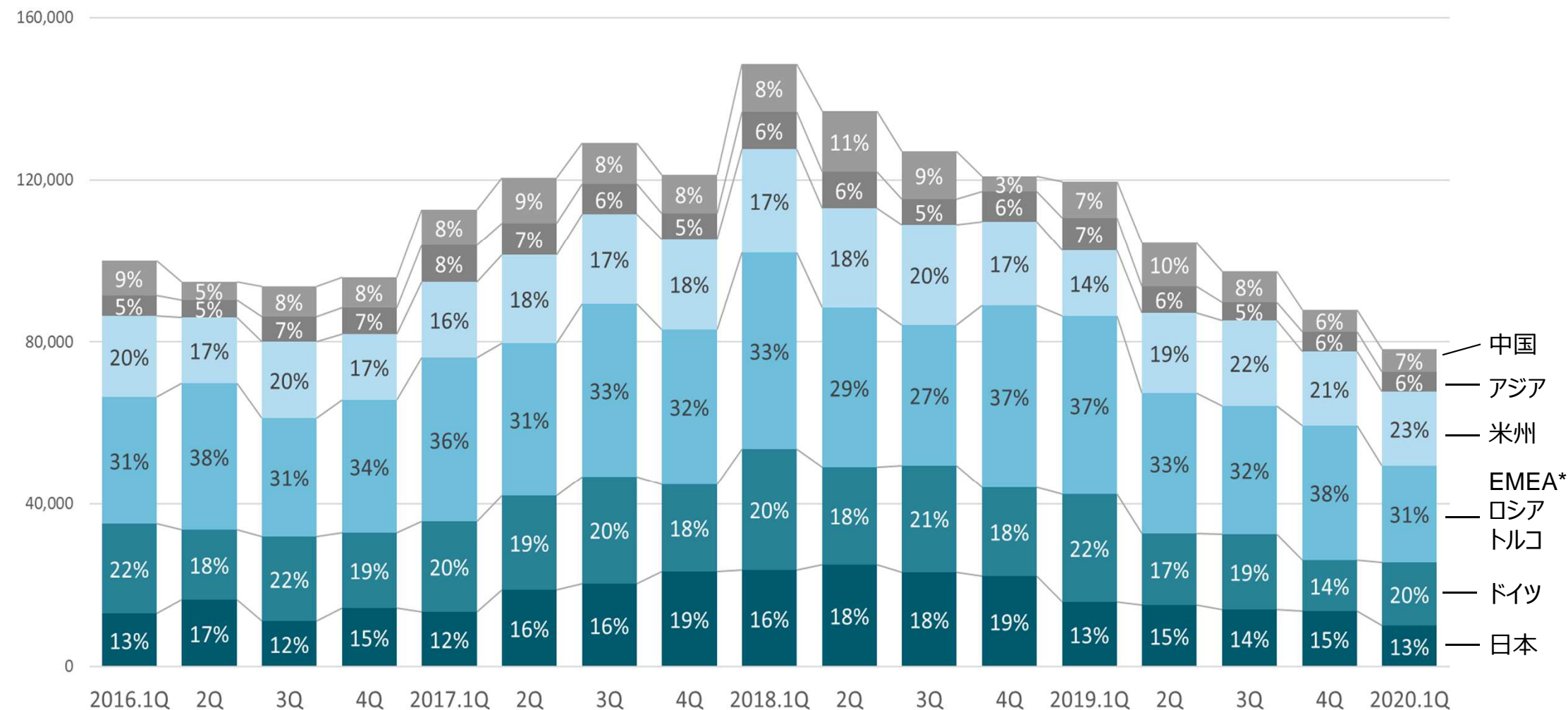
3. 経営施策

- ✓ 損益分岐点引き下げ、クレジットライン拡充
- ✓ デジタル化進展
- ✓ 最先端加工技術普及

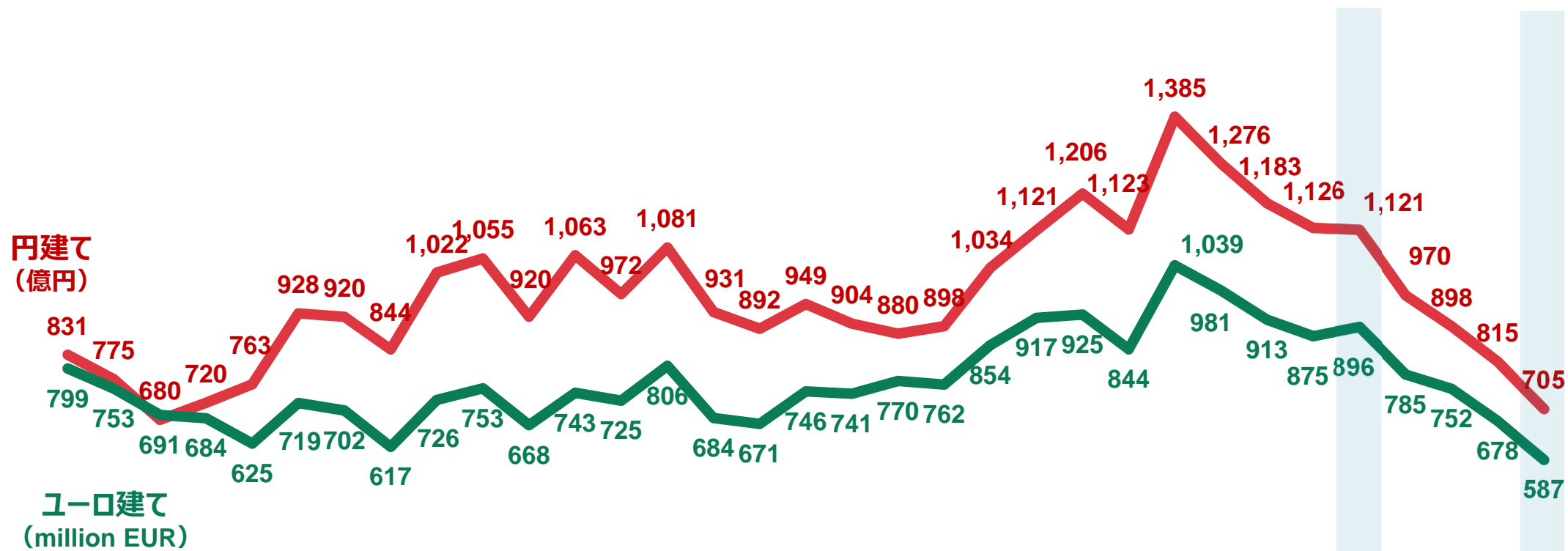
地域別受注構成 (連結受注)

※金額ベース

(百万円)

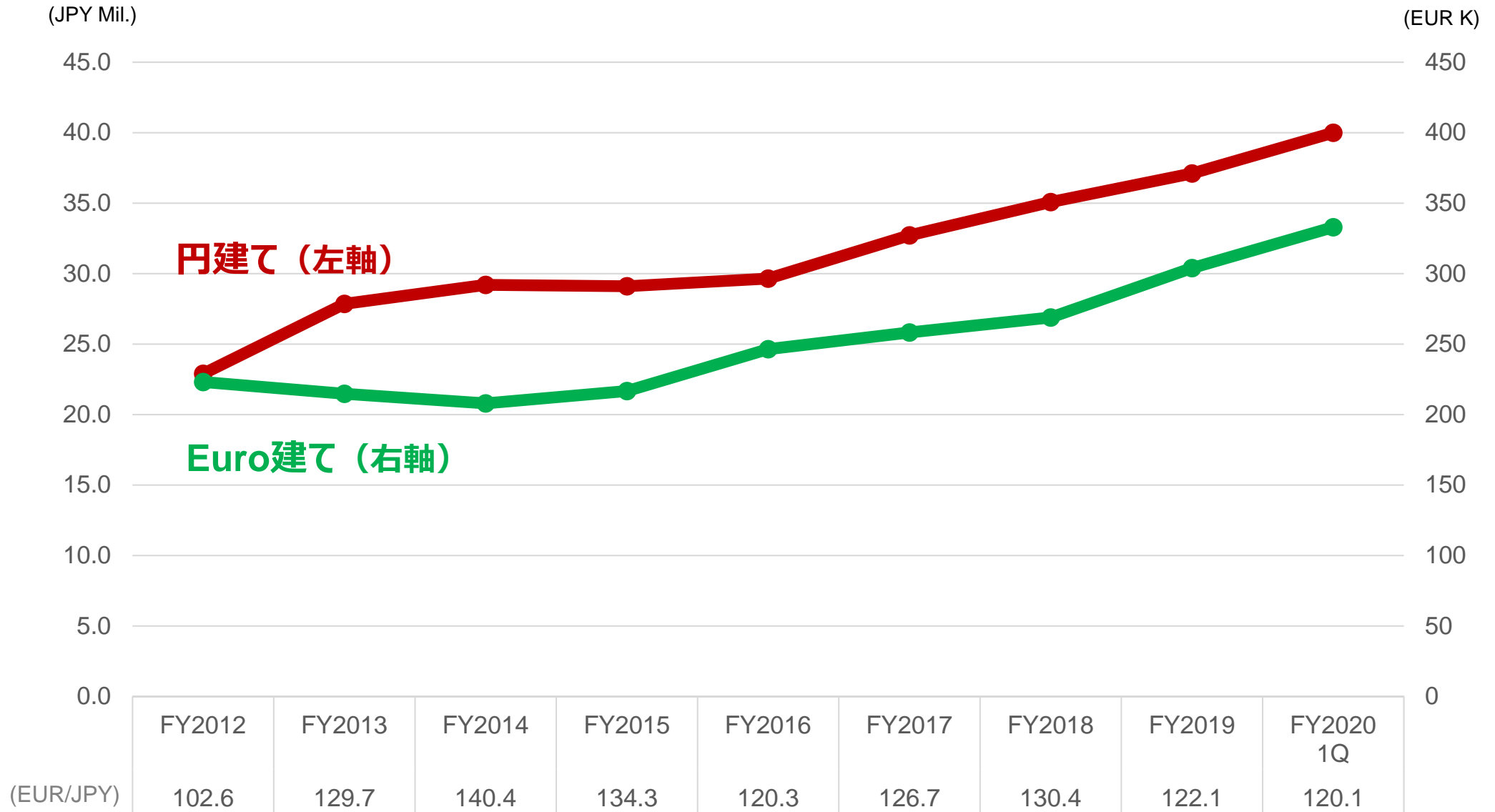


*Europe, the Middle East and Africa



	Jan-Mar FY12	Apr-Jun	Jul-Sep	Oct-Dec	Jan-Mar FY13	Apr-Jun	Jul-Sep	Oct-Dec	Jan-Mar FY14	Apr-Jun	Jul-Sep	Oct-Dec	Jan-Mar FY15	Apr-Jun	Jul-Sep	Oct-Dec	Jan-Mar FY16	Apr-Jun	Jul-Sep	Oct-Dec	Jan-Mar FY17	Apr-Jun	Jul-Sep	Oct-Dec	Jan-Mar FY18	Apr-Jun	Jul-Sep	Oct-Dec	Jan-Mar FY19	Apr-Jun	Jul-Sep	Oct-Dec	Jan-Mar FY20
為替 USD	79.3	80.2	78.6	81.2	92.4	98.8	99.0	100.5	102.8	102.2	103.9	114.5	119.1	121.4	122.2	121.5	115.5	108.2	102.4	109.3	113.7	111.1	111.1	113.0	108.3	109.1	111.5	112.9	110.2	109.9	107.4	108.8	108.9
(円) EUR	104.0	102.9	98.4	105.3	122.0	129.0	131.1	136.7	140.8	140.1	137.8	143.1	134.2	134.2	136.0	133.0	127.2	122.0	114.3	117.8	121.1	122.2	130.4	133.0	133.2	130.1	129.6	128.8	125.2	123.5	119.3	120.3	120.1

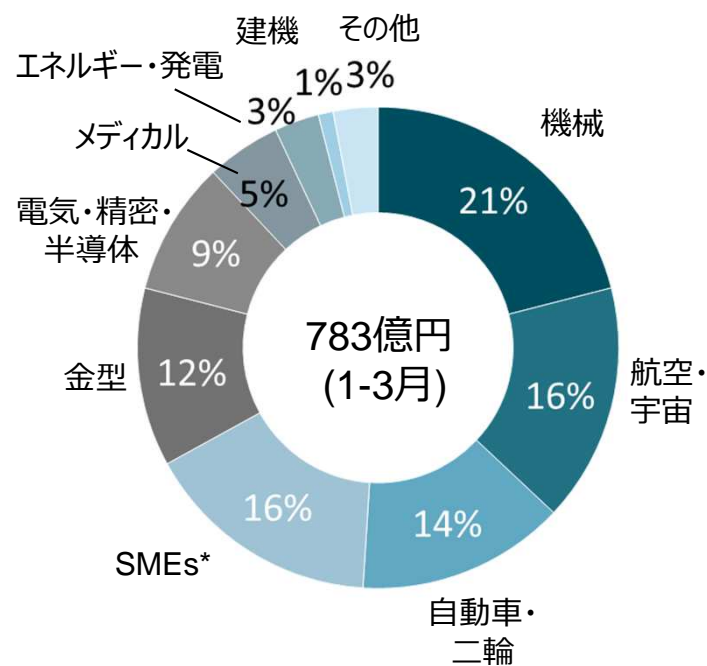
1台あたりの機械受注単価推移



※金額ベース

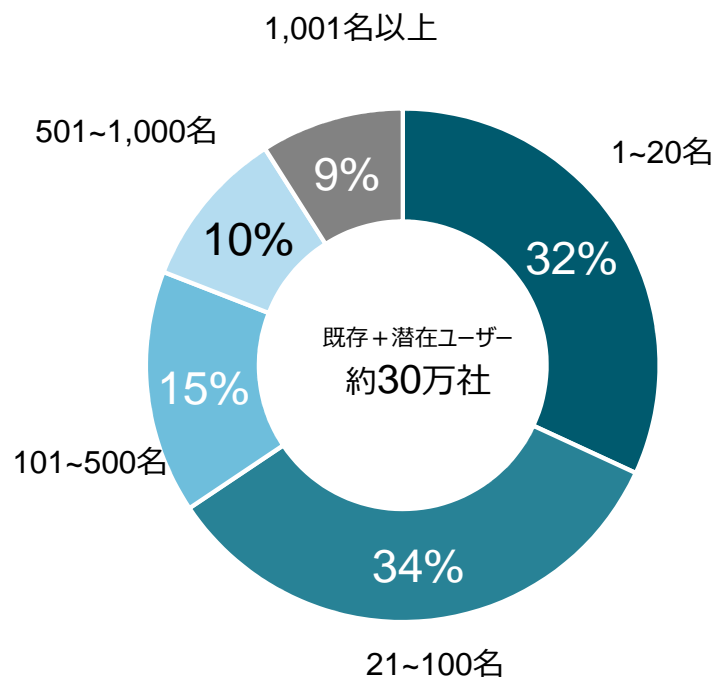
FY2020.1Q

業種別

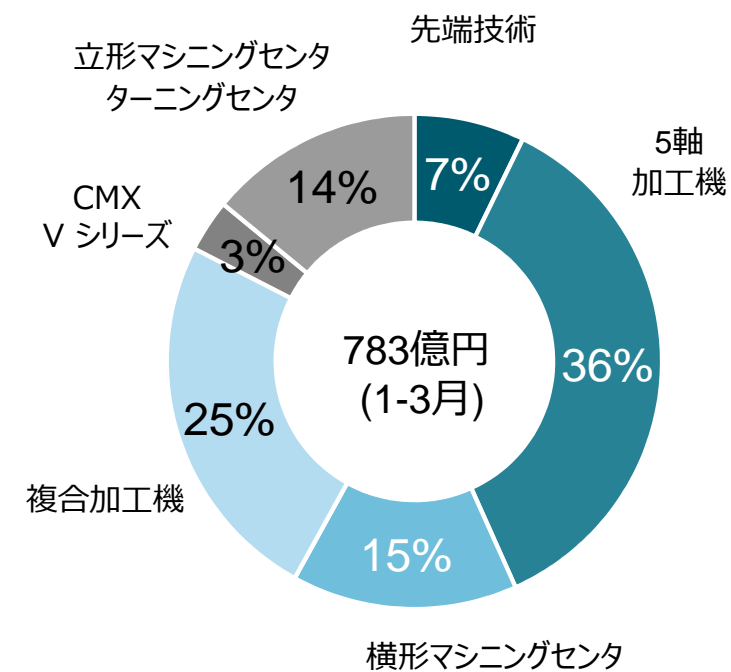


*Small and medium-sized enterprises

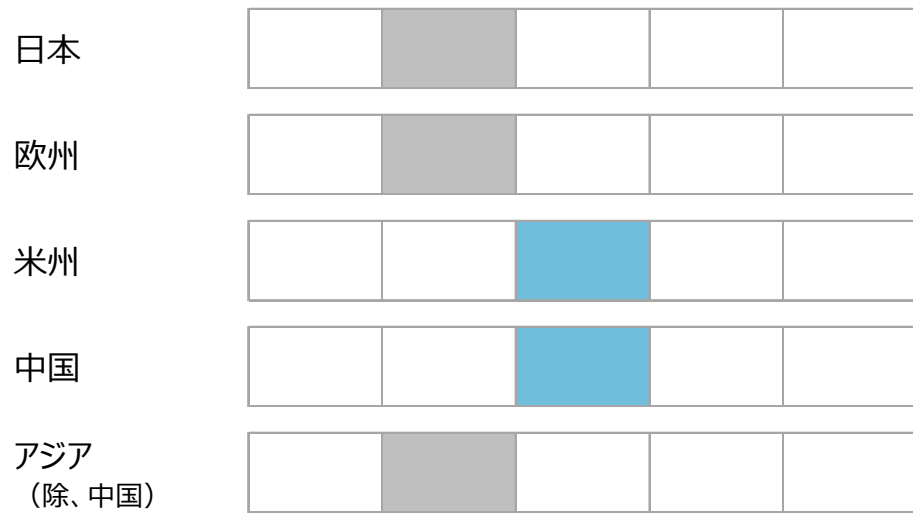
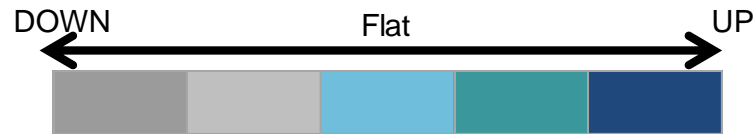
規模別



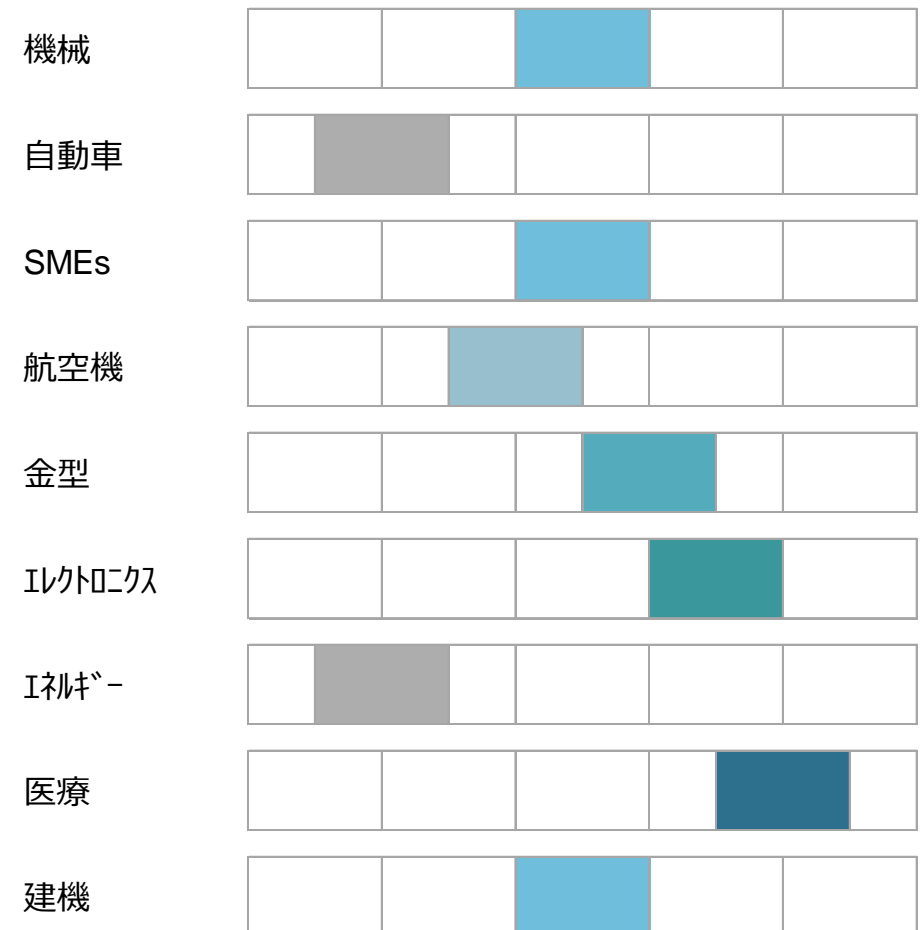
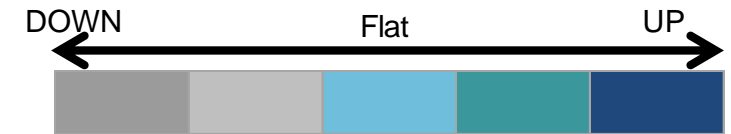
機種別



地域



業種



1. 第1四半期決算概要

2. 事業環境

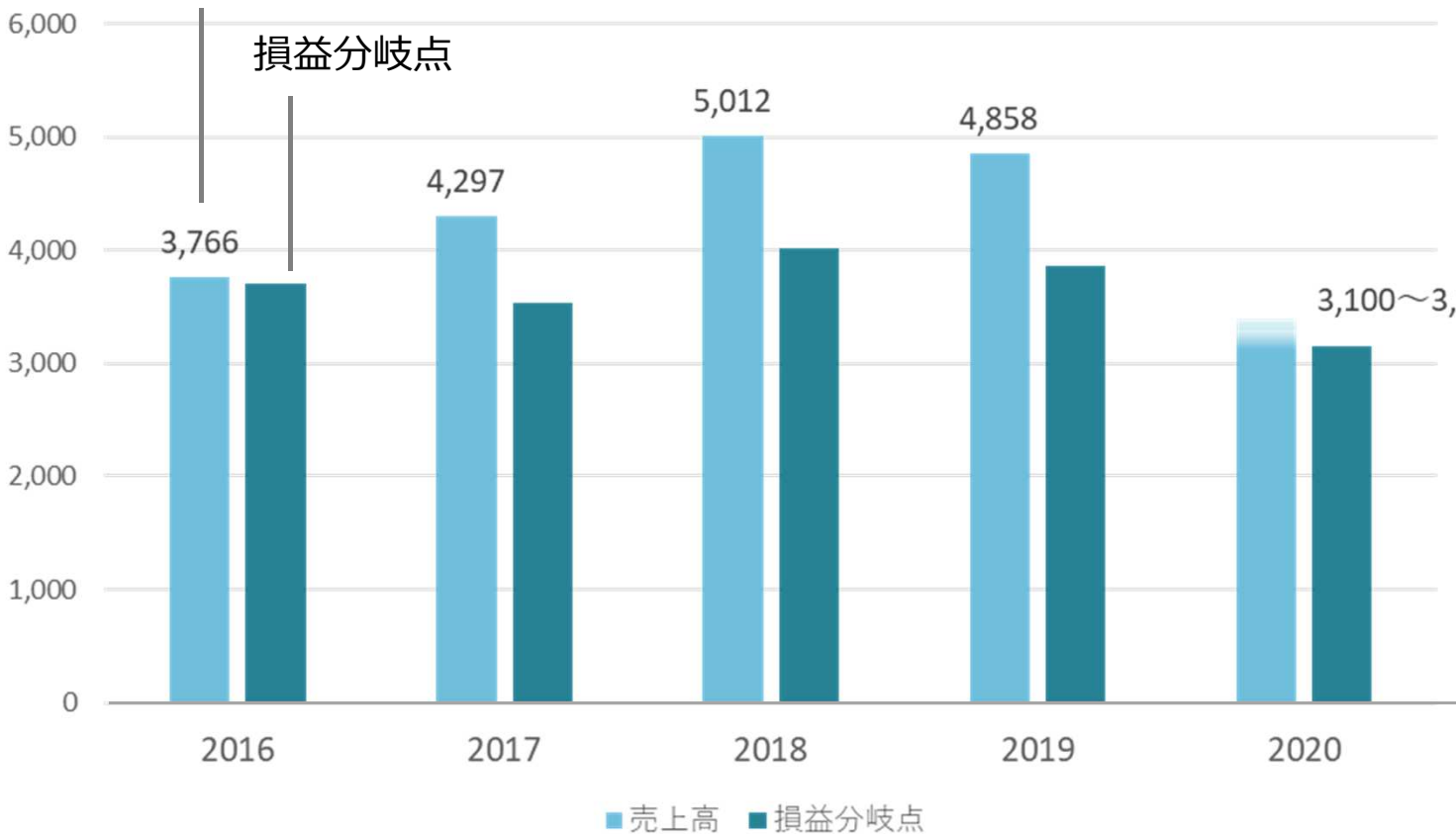
3. 経営施策

- ✓ 損益分岐点引き下げ、クレジットライン拡充
- ✓ デジタル化進展
- ✓ 最先端加工技術普及

(億円)

売上高

損益分岐点



収益改善策

粗利改善 : 30億円

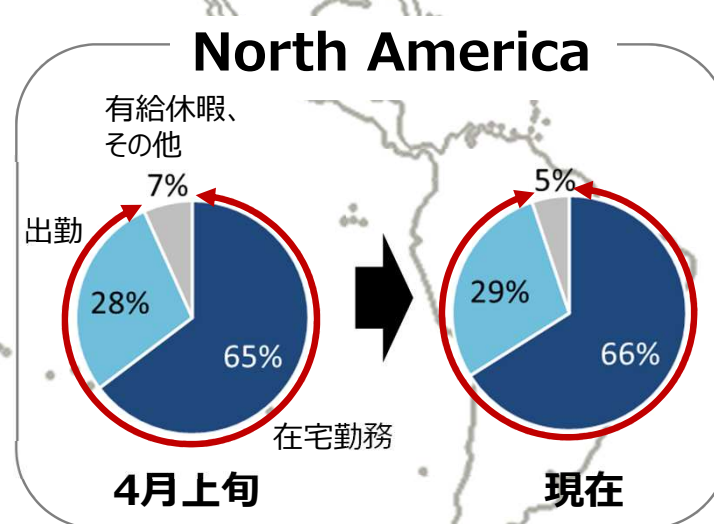
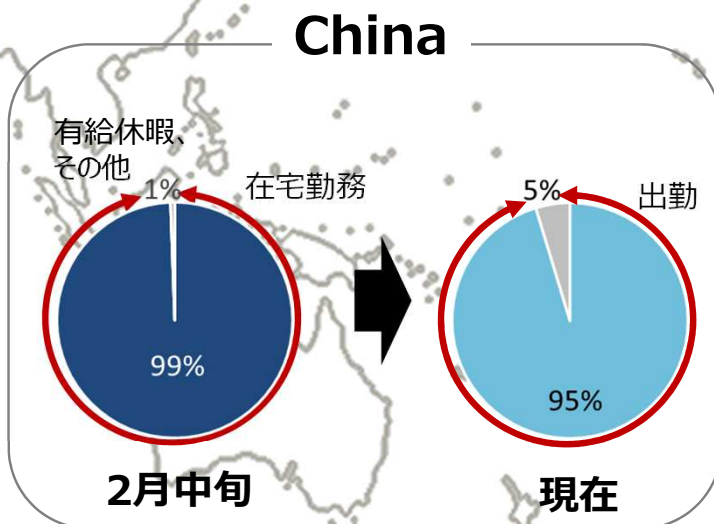
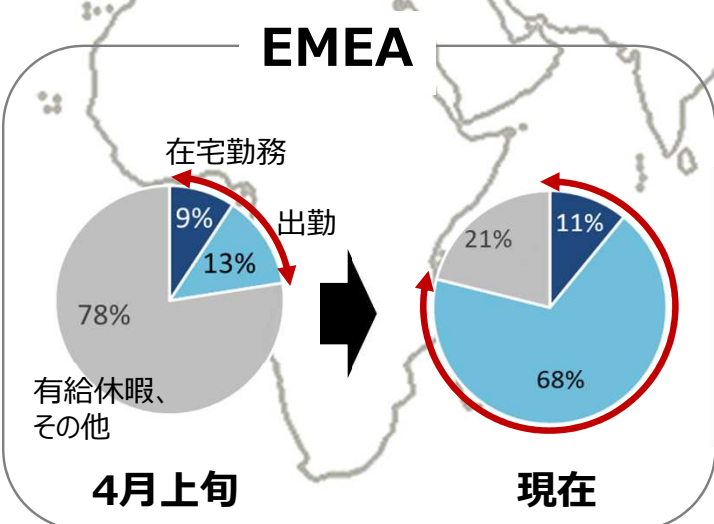
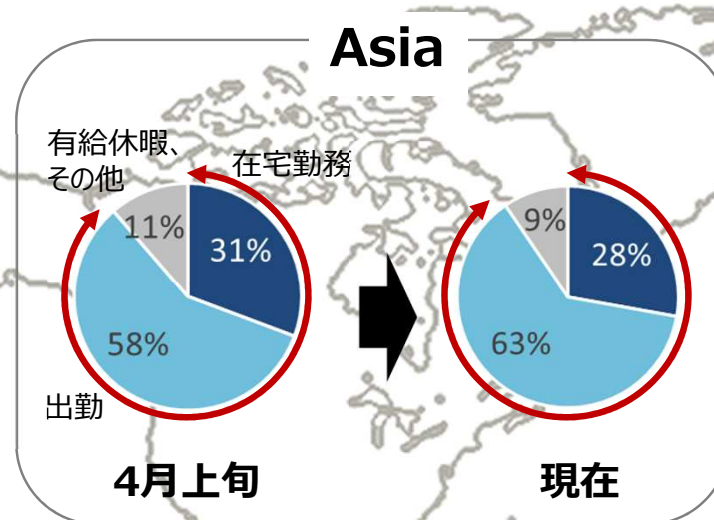
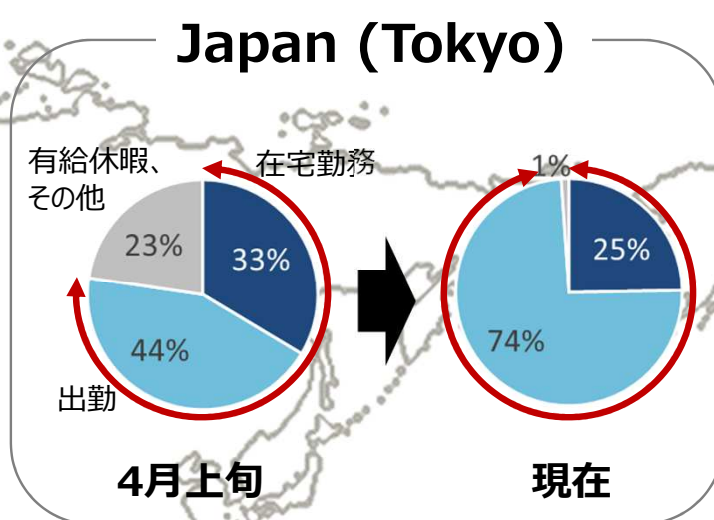
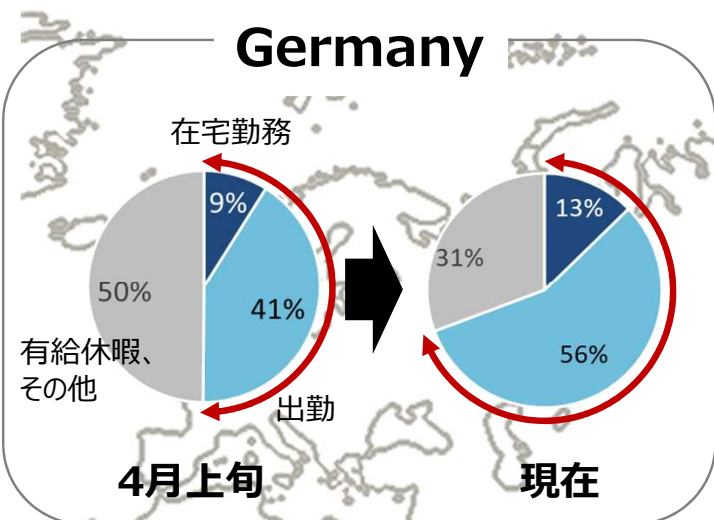
人件費 : 130億円

デジタルイノベーション : 30億円

その他 : 10億円

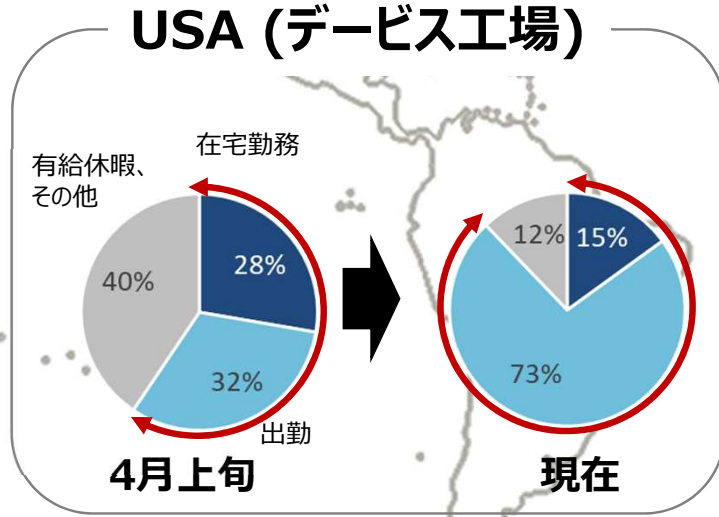
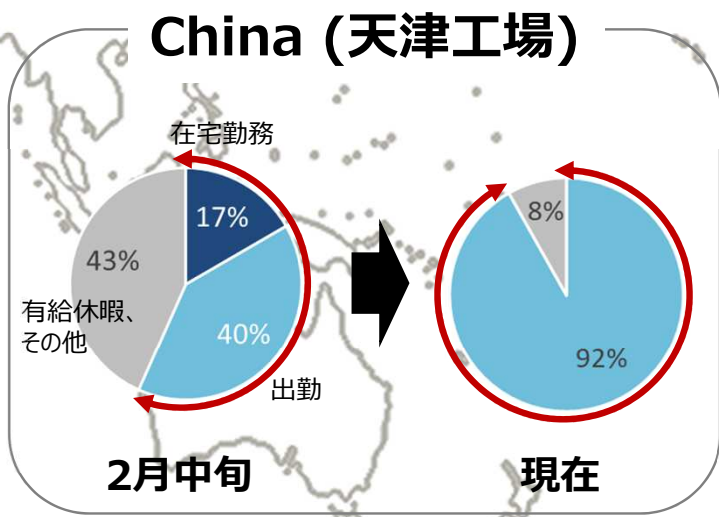
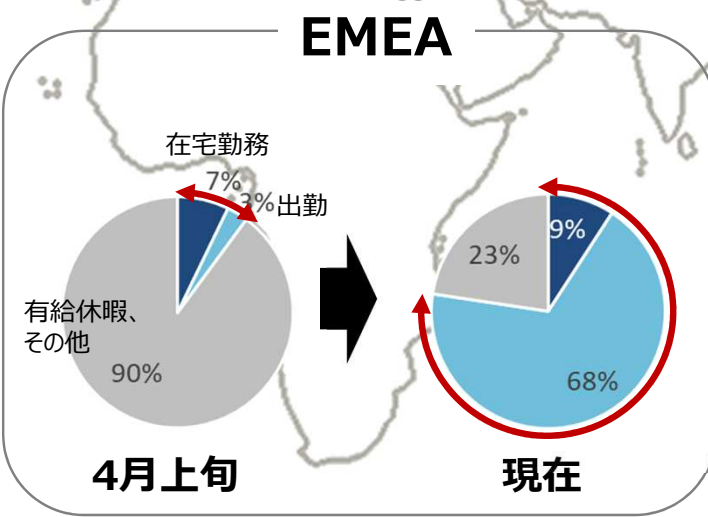
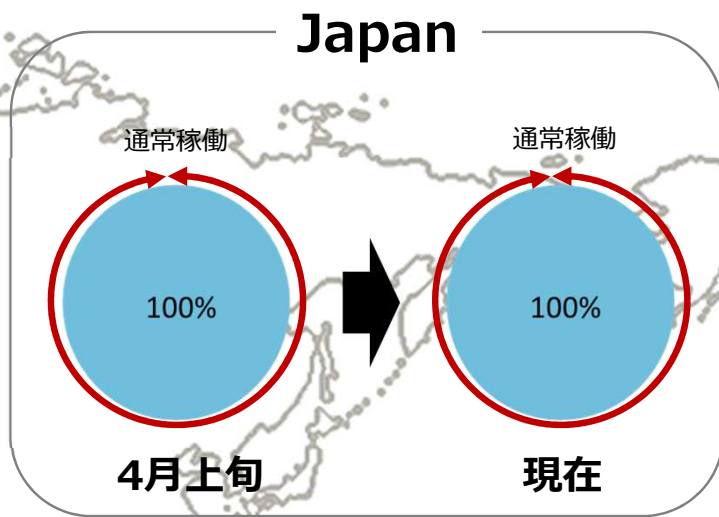
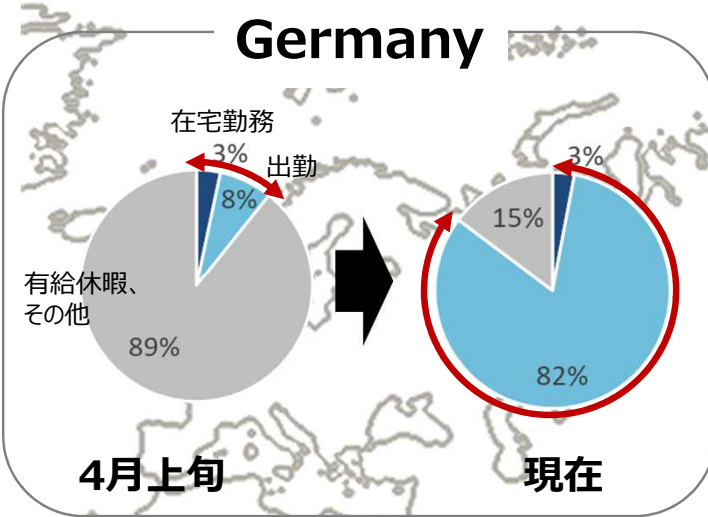
合計 : 200億円

2020年4月末：	現金残高	193	億円
	クレジットライン (AG株式購入分含む)	3,404	
	借入実行額 (AG株式追加取得含む)	▲822	
<hr/>			
	手元資金 + 追加借入余力	2,775	億円



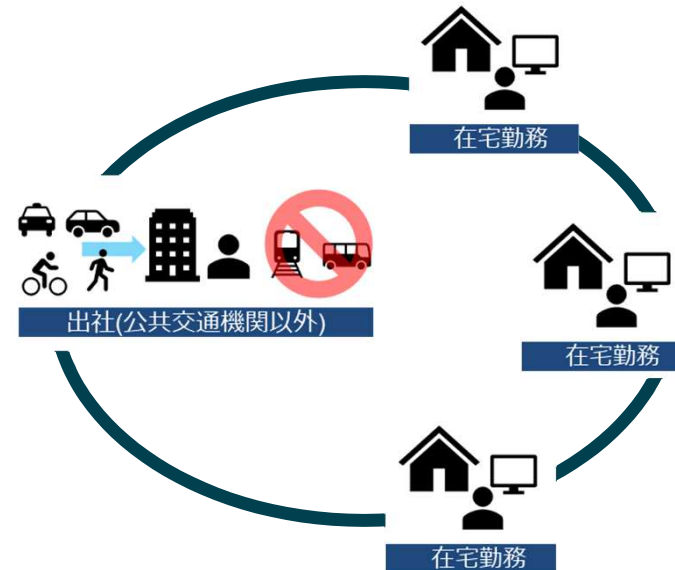
*各工場を除く

新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大にともなう勤務状況 ー生産拠点

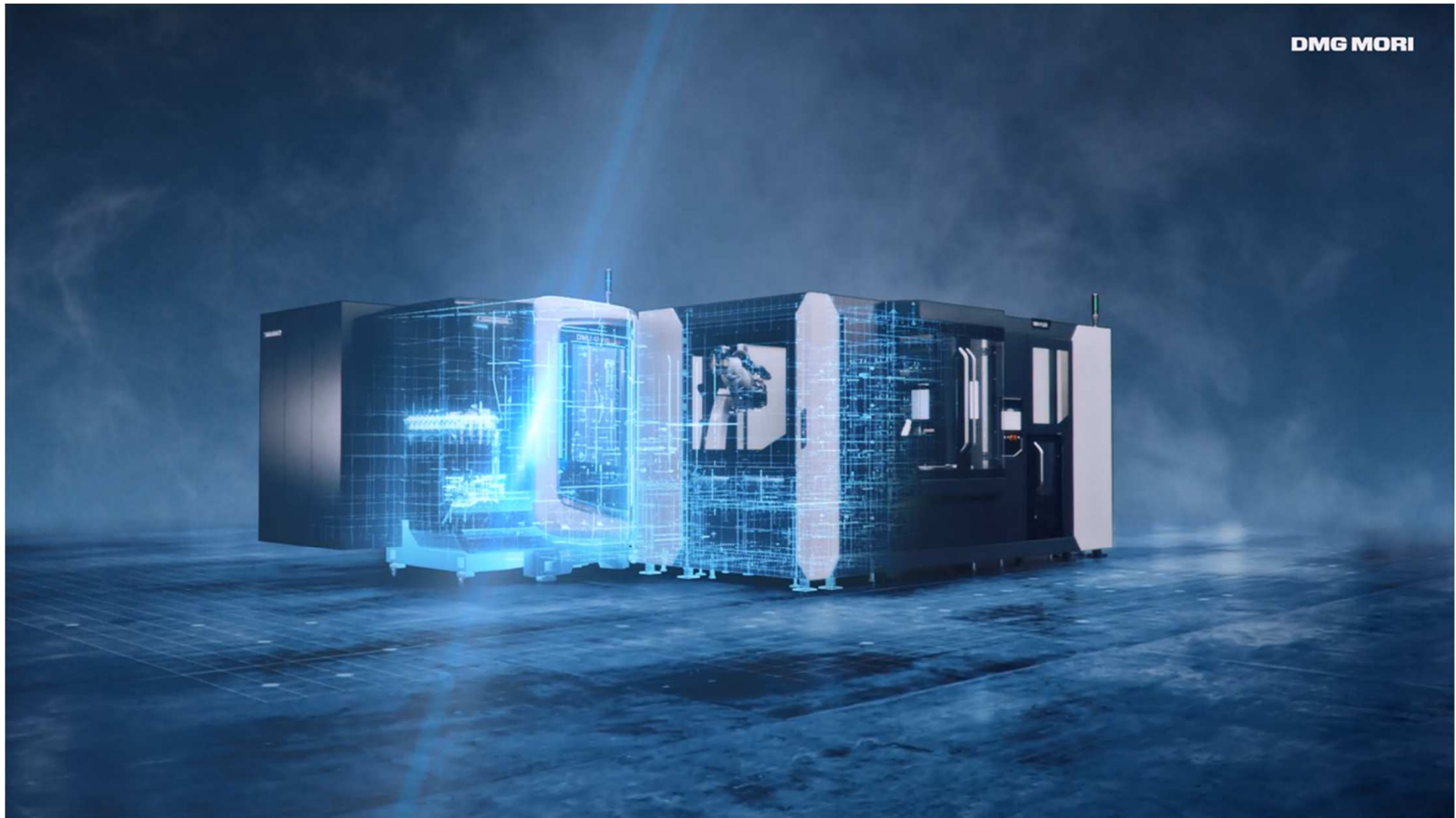


- ☑ 公共交通機関での出勤禁止*(日本)
- ☑ 在宅勤務
- ☑ テレビ会議システムの活用
- ☑ 動画配信による社内研修

コロナウイルス感染予防対策			DMG MORI
			
石鹸をつけて 20～30秒かけてよく手を洗う	握手はしない	顔を触らない	咳エチケットの徹底
			
3密の禁止	マスクの着用	必要に応じた手袋の利用と 厳格な衛生管理	TV会議システムの 徹底利用



*2020年5月末時点





ローカル5Gを用いて工場内の自動運転を実現

- ✓ 超高速・低遅延
- ✓ 多数同時接続可能
- ✓ 高セキュリティ

AGVの遠隔操作試験を実施

- ①電波伝搬試験（受信レベルの測定や干渉状況の調査）
- ②通信品質試験（遅延やスループット性能、パケット誤り率を測定）
- ③アプリケーション試験（ローカル5Gを介したAGVの遠隔操作試験）
 - －AGVに対するローカル5Gの安定した通信可否の評価
 - －離れた場所で稼働するAGVの動作状況/稼働状況の見える化

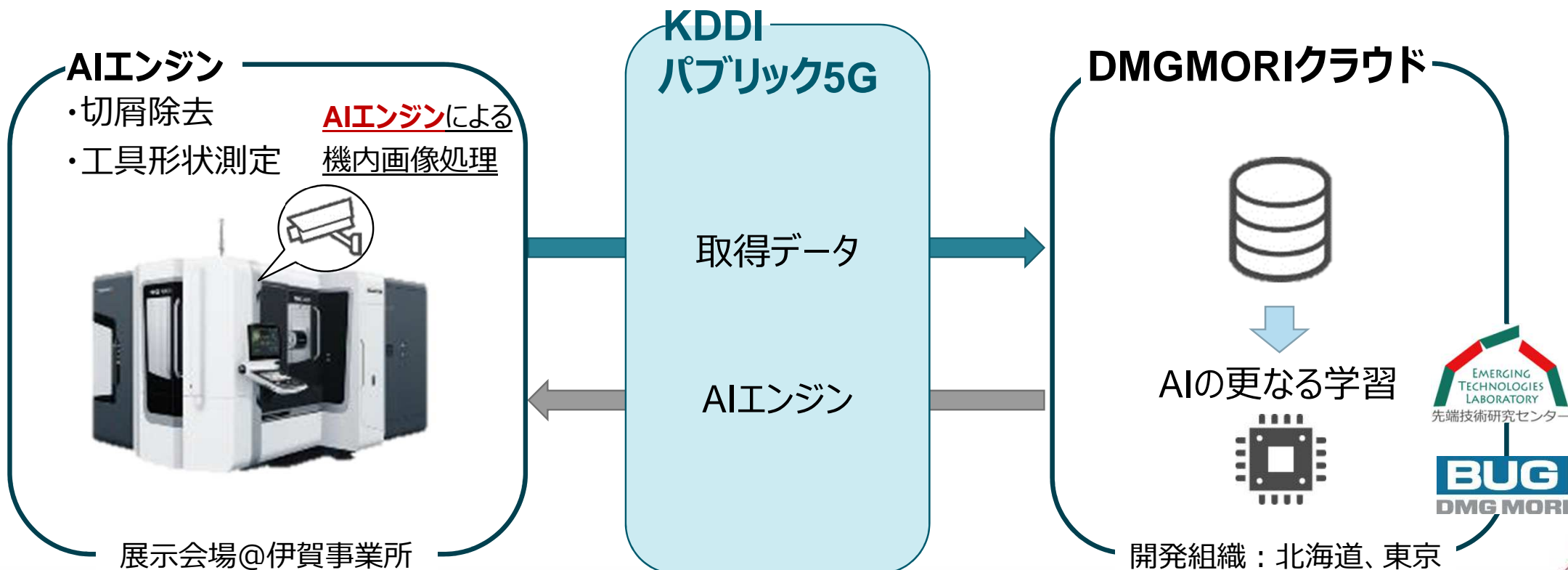




パブリック5Gを用いて お客様のデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進

DMG MORI拠点に5G環境を構築、
新たなソリューション開発拠点へ

- ◆ 2020年4月 伊賀事業所
- ◆ 2020年7月 東京グローバルヘッドクォータ



TULIP: デジタルトレーニングのためのソフトウェアおよびハードウェアプラットフォーム

- ✔ コードなし、プログラミングの知識がなくてもアプリを簡単作成
- ✔ 対話式トレーニングにより学習効果向上
- ✔ ユーザーフレンドリー、テンプレートアプリから簡単に作成
- ✔ ファクトリー・キット (TULIP導入の基本セット)

DMG MORI Academy

TULIP FOR EDUCATION



ファクトリー・キット



my DMG MORI 登録件数

欧州 約10,000件
 日本 約6,500件
 その他地域 展開準備中



目標
40,000件

登録特典

- ◆ 日刊工業新聞（電子版）
- ◆ 月間生産財マーケティング（電子版）

myDMG MORI CUSTOMER PORTAL

YOUR HISTORY YOUR MACHINES YOUR DOCUMENTS

my DMG MORI: new customer portal for integrated service optimization

SERVICE EXCELLENCE DMG MORI MACHINES

01 QUICK SUPPORT
 Every day, over 3,000 service technicians on call around the globe

02 MORE SERVICE
 24/7 availability – our DMG MORI service experts

03 MORE AVAILABILITY
 > 95% availability
 > 310,000 different original spare parts on stock

36-month warranty on all MASTER spindles

Over 6,000 spindles readily available worldwide

- ✔ 伊賀イノベーションデー2020 の代替として、テクノロジーフライデー開催
- ✔ 毎週金曜に少人数（各回30人以内）で伊賀および東京で開催
- ✔ テーマ：5軸・複合化、自動化、デジタル化
my DMG MORI, TULIP
計測技術、AM、新技術
四半期毎 新機種／新技術、新セミナー

弊社のリムジンバスにて送迎いたします



- 伊賀事業所
名古屋駅
新大阪駅
京都駅
- 東京GHQ
東京駅

5軸・複合化



デジタル化



計測



自動化



アディティブマニュファクチャリング

JAPAN PREMIERE 2020

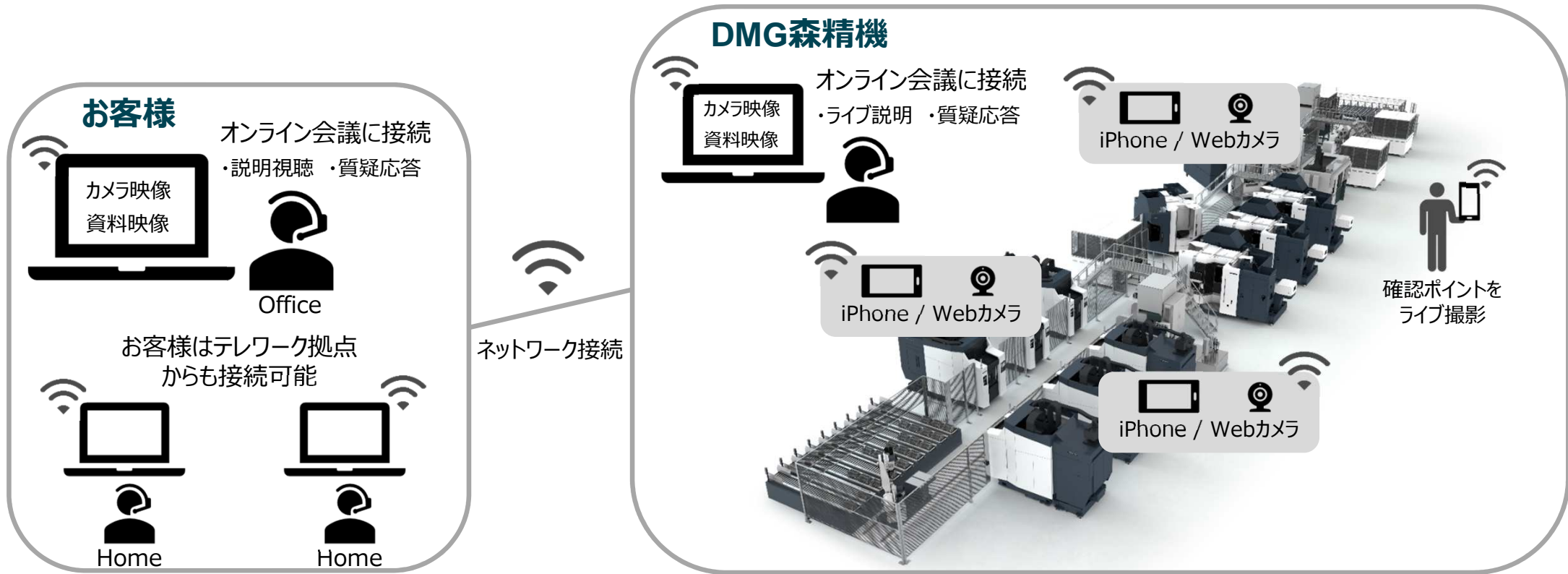


エクセレンスセンタ



✔ オンライン会議システムを活用した「工作機械のデジタル立ち会い」を開始

■ 立ち会いイメージ



✔ バーチャル空間でのショールーム訪問



近日公開



2020年夏 DMG森精機 デジタルアカデミー開始

1 いつでも学習可能なeラーニング形式

2 加工実習を2日間に凝縮！ (※1)

3 予習・復習もカンタン！ 不明点はいつでも講師に質問可能 (※2)

TECHNIUM



※1：現在は伊賀工場にお越し頂き、5日間で受講頂く形式でご提供 ※2：受講期間内はWebフォームからお問合せ可能

デジタルアカデミー eラーニングの特徴

ログインから受講開始までわずか2クリック



トップ画面



学習状況一覧



受講画面

TECHNIUM



操作が簡単、学習状況・進捗を一覧管理、
「クイズ」や「修了テスト」で理解度確認

✔ オンラインセミナー <Webinars>

デジタル・マニュファクチャリング・パッケージ (DMP)やデジタルサービスを提供
お客様向け・社員向けのオンラインセミナーを各地域で提供



トポロジー最適化、軽量化、表面面積拡大、機能改善

Powder-nozzle



LASERTEC 125 3D hybrid



冷却機能改善向けリング式ノズル
(ULTRASONIC 80 eVoの標準部品)

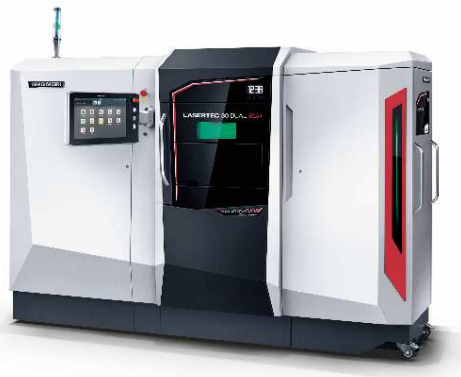
27%
軽量化

33%
コスト削減

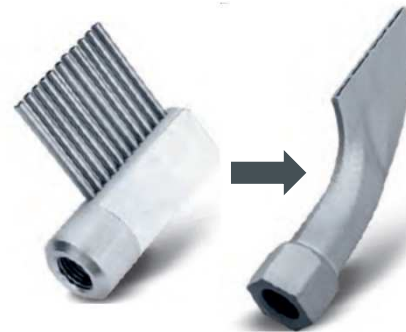


ULTRASONIC 80 eVo

Powder-bed



LASERTEC 30 DUAL SLM



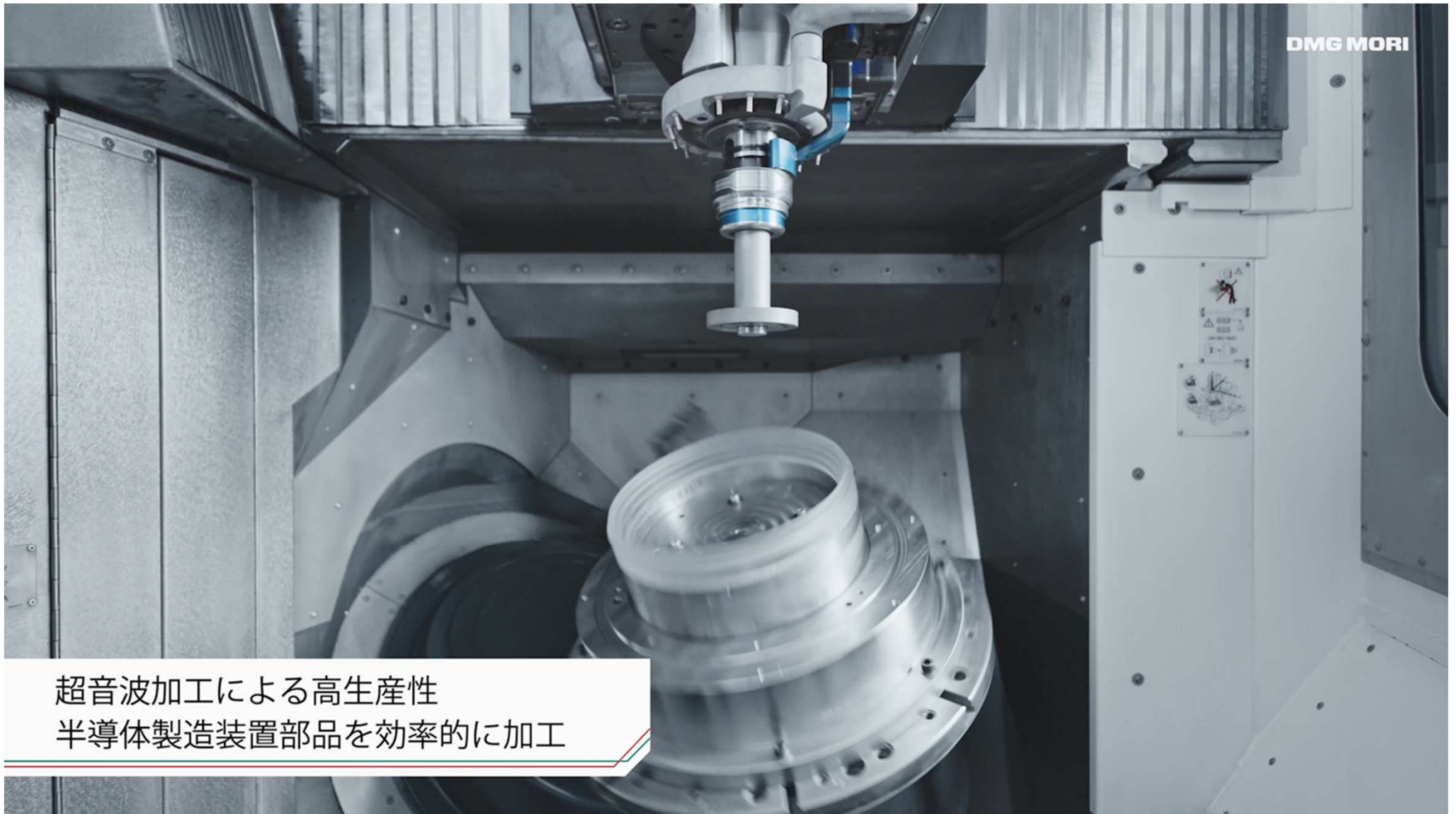
組立不要グラインディングノズル
(DMU 80 P duoBLOCKの標準部品)

56%
軽量化

60%
コスト削減



DMU 80 P duoBLOCK



超音波加工による高生産性
半導体製造装置部品を効率的に加工



技術提携

計測およびカメラに関する技術の提供
レーザースキャナーの提供

販売提携

グローバルな販売網を提供



レーザー金属3Dプリンター
Lasermeister 101A



同時5軸加工機DMU 50他



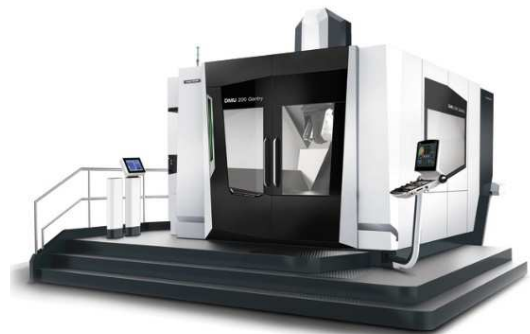
非接触レーザースキャナー
LC15Dx



NTXシリーズ



NHXシリーズ



DMU Gantryシリーズ

2020年4月10日

ものづくり人材の育成に関する取組みを連携協力して行うことに合意し、連携協力協定を締結。



兵庫県

協力予定領域

- 機械貸与を通じて、ものづくり人材の育成に貢献
- 5軸加工研究会を通じて、
先端高度加工技術の普及促進
- 県下企業等と連携し、
先端高度加工機操作研究会の実施



兵庫県立ものづくり大学校へ
NLX 2000 | 500 他、計2台

当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。
これらの将来に関する記述は、
当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいております。
今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。
なお、不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 為替相場の変動
- 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当社が営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ
- 独禁法等関連する法規制又はその所轄当局による運用の変更